とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	9月19日（金）
クラス名（年齢）	ばら組（5歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

影で遊ぼう！

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・戸外遊びの時に鉄棒にぶらさがっていた子どもが「影がおばけみたい」など話し楽しんでいた。また、お月見の製作で月を作ると「窓に映すときれい」「うさぎが影みたいになるかな」と話していた。

2、活動スケジュール

・自分で作った月の製作（画用紙の枠の中にクッキングシートを貼り、そこに花紙の黄色をちぎって貼る）や、影になった時に面白そうな物を用意し映して見る。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

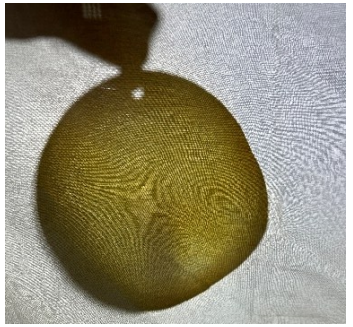
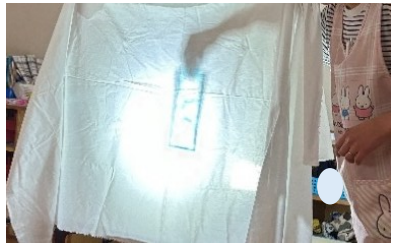
・白い布、ライト、影になったら面白そうな物を複数用意する。
・白い布は子ども達が座って見えるよう高さや大きさを調整する。
・子どもの声に合わせてライトの位置を変える。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・自分で作った月や型抜き、定規などをライトに当て布に映し影を見る。
・子どもの声を聞きながら上下左右などに動かして見る。
・布の裏からライトを当て物を映し違いを見つけて楽しむ。
・何の影が当ててみる。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・太陽の光で黄色が透けてきれいな月の製作をライトの光に当てて布に映し、影が映るか試してみると「丸い影が映った！」「この影、遠くにしてみたら大きくなるんだよ」と映ったことを喜んだり、距離で大きさが異なることを知っている子どももいた。 ・「でもうさぎも貼ったのに丸しか映ってないね」「どうしてだろう？」「ライトを後ろにしたらどうなるかやってみたい！」など子どもから様々な考えが出てきた。 ・後ろにライトを置いて照らすと「ほら！ライトを後ろにしたら映った！！」と自分たちが言ったことが成功して喜んだり、「先生の手もおばけみたいな形になってる」「青い定規は青になってるね」「前に本で見た手を鳥の形にするのも作れそう」など影にさらに興味を持った。	  

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・始めは影が映る面白さをみんなで共有できればと思っていたが、子ども達は「どうしてだろう？」「○○したらどう？」など疑問やひらめきがたくさん出てきた。子どもの声に合わせて試していくと「○○できそう」「やってみたい」とさらに興味を持っていた。今回は保育者が影を映していったが、次回は子どもが選んだものを映し展開を楽しんでいきたい。